

市町村長から頂いた主なご意見（平成28年2月）

総論

- ・ 維持管理と老朽化対策は重要である。
- ・ 道路関係予算が減っている中で、選択と集中はやむを得ない。
- ・ 予算が縮減傾向にあるなか、厳しい財政状況の中で当計画を計画通り確実に実施できるよう、予算の確保をお願いしたい。
- ・ 渋滞箇所や交通安全上早期に整備する必要のある箇所などがまだ多く残されており、早期の事業化を望んでいる。

適切・効率的な維持管理

- ・ 路肩の草刈りの頻度が少ないと思う。
- ・ 雑草防止を兼ねた防草マット等は景観上も有効だと思う。
- ・ 街路樹の植え替えや伐採への取り組みは良い。街路樹の整備にあたっては景観に対する配慮もお願いする。

渋滞対策

- ・ 右折車線がなく渋滞が生じている箇所の整備をお願いする。

快適な道路空間の形成

- ・ 街なかの道路再整備は県・市とも協力して進めて行く必要がある。
- ・ 自転車走行空間ネットワークの整備を進めていることから、道路整備にあたっては自転車通行に対する配慮をお願いする。

ツーリズム支援

- ・ 観光振興に寄与するという視点からも、道路整備は積極的に取り組んで頂きたい。
- ・ 「日本風景街道」など、広域的な周遊観光ルートにおいて、景観が良好な道路は、道路自体も観光資源となるため、道路沿線には立ち寄りやすい小規模な駐車帯などの設置を検討してほしい。

- ・ 英語だけでなく、その地域の観光実態に合わせた外国語標記を追加すべきである。別府市においてはハングル標記の追記など地域の状況に応じた標記も検討して欲しい。

広域ネットワークの整備

- ・ 東九州道（宇佐別府道路）の4車線化も記載されておりありがたい。商工会からの強い要望もある。私も「まずはみんなが利用し、交通量を増やす必要がある」と言っている。
- ・ 緊急輸送道路に関連して、熊本からの物資の運搬等を考慮すると、横軸となる中九州道路の整備や啓開が防災面から重要と考える。
- ・ 中津日田道路は、企業誘致の促進、中津港を起点とした物流の拡大や海外観光客のインバウンド効果が期待されるなど、県内の最重要路線に位置づけられることから、1日でも早い事業完了を望む。
- ・ 定時性確保のため大分空港道路の4車線区間の延伸は非常に重要であると考えている。推進に向け全面的に協力したい。
- ・ 空港道路内における対向車線部では、死亡事故等が発生しているため、4車線化してもらいたい。
- ・ 宇佐国見道路の代替となるバイパス等の整備については、立体交差などを考慮し、地域高規格道路に準ずる計画とすべき。
- ・ 高速道路が霧で通行止めの場合、国道10号、日出山香線共に交通量が多く、渋滞が激しい。交通量を分散させる迂回ルートの検討も考慮し対策を行って欲しい。

地域ネットワークの整備

- ・ ミッシングリンク解消のため、未改良区間の整備は今後も必要である。また、観光ルートとして重要な路線の整備も必要である。

小規模集落対策

- ・ 主な移動手段が自動車に頼っている状況において、周辺部では高齢化が着実に進んでいることから、1.5車線的道路整備を含めて早期の改良を推進してもらいたい。

旧道の市町村移管

- ・ 旧道移管は、事前に地元との調整や市町村の意向を確認した上で、移管条件について十分協議し、適切に整備した上で引き渡して欲しい。